

ご厚志をありがとうございました

森谷邦子 様	金森成子 様	深町澄江 様	林照高 様	田野政雄 様	岡田美二夫 様
鎌田幸江 様	堀口幸男 様	吉田良子 様	深作孝 様	長澤和子 様	天野ハル子 様
市岡純子 様	中野恵子 様	三輪博 様	中村芳子 様	西端哲雄 様	宮田敬一郎 様
内田裕康 様	橋本操 様	若林浩文 様	大塚俊治 様	長島徳治 様	根岸つぐ子 様
大澤充 様	石井義夫 様	小山清 様	横森 好江 様	濱谷忠男 様	矢木田千代子 様
代吉和 様	木附久江 様	板垣弘道 様	星野隆一 様	鈴木武之 様	秋元新太郎 様
細田等 様	橋本京子 様	永峰照子 様	秋元堅次 様	島田晃男 様	近藤佳代子 様
橋本秀光 様	加藤なか 様	山本福子 様	関根真弓 様	武田勝善 様	小野寺依子 様
NPO法人 彩花 様	岡村自動車 様	荒川青果 様	西武リース 様	佐藤義雄 様	島田民子 様
茄子のとも 様	カイゴテック 様	ヒグチ電機 様	東京家政大学 様	埼玉森林病院 様	ケア・クロスくつろぎ 様
ヒューマンネット 様	菊屋 様	武蔵野短期大学 様	大泉保育福祉専門学校 様	東京家政大学 様	東京家政大学 様
ケージーエム 様	環境工学研究所 様	太陽設計 様	あいおいニッセイ同和損保 様	東毛給食センター 様	

日帰り旅行へ
(けやき寮)

令和最初の行事は、横浜へランチクルーズとカップヌードルミュージアムでのマイカップヌードル製作体験です。毎年行う日帰り旅行は利用者さんにとって一大イベントとなっています。この日は集合時間を早めに設定していましたが、皆さんのご協力により時間に追われる事なく過ごせました。

レストラン船ロイヤルウィング号のランチでは、中華バイキングという事でフカヒレスープや炒飯、小籠包などの本格中華料理、デザートには杏仁豆腐やフルーツなどを堪能されていました。食後は船外デッキで写真を撮

られる方もいらっしゃいました。

カップヌードルミュージアムに到着すると、悪天候の影響か予想を超える混雑。人と人の間を縫って歩くような状態でした。マイカップヌードル作成会場も人で埋まっている中、この日に備えて麺の容器の見本で練習をした為、皆さん時間に余裕をもつての完成となりました。利用者さんがご自身で考え、思い、好きなように描かれたマイカップヌードル作成は、楽しい経験となったようで「また作りたい」、「今度はチキンラーメンをやろう!」とお話を貰います。

お昼がバイキングだったので夕食は控えめに…と思い、崎陽軒のシウマイ弁当をバスでいただきます。量も丁度良く、美味しかったと好評でした。

移動距離が長かった今回の日帰り旅行。お疲れの方や来年の行先を楽しみされている方、思い思いの過ごし方で帰路につきました。これからも普段作業を頑張っているけやき寮の利用者さんの為、一緒に楽しんで思い出に残る行事を計画していこうと思います。(池本)



「福祉の仕事」

～ むさしの青年寮 管理者 中野 陽子 ～

ある職員から「『福祉』って何ですか?施設長だったらどう説明しますか?」と問われ、どう答えたのか保留にさせてもらってから早 1 年近く。

『福祉』の言葉の意味を辞書で調べると「幸福。特に社会の構成員に等しくもたらされるべき幸福」等と説明されています。であれば、むさしの郷の法人理念でもある通り、様々な福祉の制度や施設はそれを利用する人の幸福の為にありということになります。

では、『幸福』とは?こちらも言葉の意味を調べると、「満ち足りていること。不平不満がなくなったのいいこと。また、そのさま」とあります。

私達の仕事、障害者支援施設における利用者支援という仕事は、ひとりひとりの利用者さんの『幸福』を追求することが使命なのだと思います。しかし『幸福』の感じ方は人それぞれです。世の中には、常に「自分はなんて幸福なんだ」と思いながら過ごしている人もいますが、大抵の人はある瞬間、その時々「幸せだなあ」と思うものではないかと思います。結婚や子どもの誕生といった大きな出来事がなくとも、職場でままならないことが多いとしても、“美味しいものを食べた時や仕事を終えた後に飲む一杯のビールに”、“家族や友人と過ごす何気ない時間に”、“美しい景色を見て”“何もしないのんびりとした休日に”『小さな幸せ』を

社会福祉法人 むさしの郷

〒360-0125 埼玉県熊谷市上恩田 514-2

TEL048-598-7007

【mail】honbu@musasinogou.com

【web】http://www.musasinogou.com

感じる。そして、支援をしている利用者さんが笑顔を見せてくれた時にも『小さな幸せ』を感じることのできる職員であって欲しいと思います。

「利用者さんとのやり取りを楽しいと思えなくなったら、利用者さんの微笑ましい言動に接しても笑顔になれなくなったら、その時はこの仕事を辞めなければならぬ」と心に決めて仕事をしてきました。そう決めていたから、苦しいことが多かった時にも「ああ、まだ私は利用者さんと一緒にいると笑えるから大丈夫」と乗り越える力をもらいました。

時に自分自身の価値観や倫理観、良心といった目に見えない、数値化できない『心』が試される仕事です。誰も見ていないところで誠実である、という自分を律する強さも必要です。直ぐに結果が出るわけでもなく、こうすればこうなるという決まった型があるわけでもない、やればやる程新たに知りたいことが出てくる、正解がなく奥が深いからこそ面白い。それが福祉の仕事の魅力です。

「夏祭りを終えて」 (ながい寮 主任 牧 洋)

今年もながい寮の夏祭りを楽しく終えることができました。

私は主に午後の部のコンサートを毎年担当させて頂いております。どうやって利用者さんや来てくださる保護者の方々、ボランティアさん、職員に楽しんでもらおうかと、40 分かかる通勤の車の中で、音楽を聴きながら企画、ネタを考えています。そのネタを考えている時間がとても楽しく、通勤時間も苦になりません。今までの数々のネタは通勤時間に生み出されています。

コンサートの企画、構成が決まっても、それを実現させるためには、職員の皆さんの協力が必要です。それぞれに、準備、役割をお願いしています。私は、企画、発想という所は得意分野なのですが、準備、作り物等が得意ではないので、そこを皆さんが補ってくれています。思いつきでものを言っ

社会福祉法人 むさしの郷 事業所一覧 http://www.musasinogou.com

むさしの郷

検索

□ 障がい者支援施設 ながい寮・法人本部 〒 360 - 0125 埼玉県熊谷市上恩田514-2
TEL 048-598-7007
FAX 048-598-7008
E mail honbu@musasinogou.com
【施設入所支援 生活介護 ショートステイ】

□ 障がい者支援施設 むさしの青年寮 〒 355 - 0008 埼玉県東松山市大谷4730
TEL 0493-39-1895
FAX 0493-39-1380
E mail seinen@musasinogou.com
【施設入所支援 生活介護 ショートステイ 日中一時支援】

□ 障がい福祉サービス事業所 けやき寮 〒 360 - 0211 埼玉県熊谷市善ヶ島3310-1
TEL 048-588-1358
FAX 048-588-8830
E mail keyaki@musasinogou.com
【就労継続支援B型】

□ 共同生活援助事業 未来ホーム（グループホーム） 〒 360 - 0203 埼玉県熊谷市弥藤吾578-18
【東方ホーム、福嶋ホーム、コスモスホーム、未来ホーム、一路ホーム】

てしまうこともあります。それを形にしてくれています。本当にすごいなと思っています。それぞれの得意分野を生かすことによって、成り立っているということを感じます。

また、それ以上に感謝していることは、普段の業務、介助をいつものようにやってくれている職員さんに対してです。行事の運営に携わってなくても、盛り上げ役になってくれたり、急なお願いを聞いてくれたり、本当に感謝しています。

担当だけが目立ってしまいがちですが、みんなで作りあげているということを忘れてはいけないと思っています。

夏祭りへの関わり方は違っても、職員の思いは「利用者さんに楽しんでもらいたい」ということで同じだと思います。それにはまず職員が楽しむことです。楽しい気持ち、雰囲気というものは伝わるものです。私も、構想、準備の段階から本当に楽しくやらせていただいています。回を重ねるごとに利用者さんや保護者の方々、ボランティアさん、職員が一緒になって楽しめる夏祭りになってきていると思います。45 歳になってもういい加減バカなことやめようかなと思う反面、まだまだ若い者には負けんという気持ちもあります。きっとまた来年も何かやっているんだろうなあ。ながい寮の皆さん、温かい目で見てやってください。よろしくお願いします。



<個別外出> ながい寮

8 月の初めに半日旅行と称して担当の利用者さんと 2 人で似顔絵ショップに出掛けてきました。

5 月中旬まで入院されていた方で、退院後しばらくして体調面に安定が見られたので個別外出をしてきました。

本人も数週間前からこの旅行を楽しみにしていただき「どこいくん?」「だれといくん?」と入院中とは比べ物にならないほどに生き活きた表情を見せてくださいました。和やかに似顔絵屋さんと向き合い、大好きな横綱白鵬と 2 人並んだ似顔絵が出来上がると「へやにもってく」

と嬉しそうな表情を浮かべていました。最近もながい寮での日常の様子を見守りながら、面会に行けども反応がなかった入院中の様子を思い出すことがあります。外出先での元気な様子にホッとすると同時に、この先も健康に過ごして頂くためにできる事をめれなく取り組もうというやる気が湧きました。これを胸に日々の仕事に取り組んでいきたいと思っています。(遠藤)



『転職後を振り返って』

(むさしの青年寮 支援員 嶋村 健一)

高校卒業後、資格を活かすため建設業で働き始めました。その 7 年後の 2008 年 9 月のリーマンショックの影響を受け、建設業界は大きなダメージを受けると同時にリストラのラッシュが始まります。私が勤めていた会社にも危機が迫り、仕方なく転職せざるを得なくなりましたが、特にやりたい事もなく、ただ安定を求めて某大手珈琲メーカーに就き、機械オペレーターとして勤務することになりました。

ほぼ毎日機械トラブルで帰りが遅くなるが、私の中では「大手企業で働けている。安定しているから辞めるわけにはいかない」、「休みの希望も通らないけど、ここで働いていれば間違いはない」と思っていました。がしかし、最終的に娘から「また来てね」と送り出されるくらい、家族とのコミュニケーションがとれなくなっていったのです。看護師をしている妻から「福祉職でやってみては?」と言われ、転職を考えると同時にヘルパーの資格を取りながら就職活動をしました。5 か所施設の面接を受け、その中でむさしの郷に決めました。その理由として、当時面接をして頂いた現山下理事長に、転職理由をどこよりも親身になって聴いて頂いたことが決め手となりました。

入職後、ほとんど勤務変更がなく、勤務表通りに出勤し定時に退勤できる。また、有休が取得できるといった当たり前の事に対して感動を覚えました。

転職後、私の表情が穏やかになったと家族から言われ、気が付くと精神的にも余裕ができていました。利用者さんとの関わりは上手いかないもありますが、毎日違う表情を見せてくれる利用者さんとの関わりは常に新鮮に感じています。

ある時、家庭の事情で一週間休むことになり、休み明け利用者さんから「大丈夫?居ないから心配したよ。」と声を掛けられた時は、本当に嬉しい気持ちになりました。利用者さんに対して支援しているつもりが、どこか私の方が救われた気がし、人と人だから感じる感情があると感じました。

福祉職に就いて 5 年目。気が付けば中堅職員となり、同僚と意見が合わず、ぶつかることも多々ありますが、今感じることは、私の使命として利用者さんの事を第一に考えること、またむさしの郷の理念『施設は障がい者の幸せのために存在する』を遂行するには、まず私自身が幸せに近い心境で支援にあたらなくてはならないということです。

何故なら、自分自身に余裕がない、嫌なことがあると、人は表情や言動に必ず出るものです。口に出さなくても他人に伝わってしまう。そんな心境で利用者の幸せを作るのは無理だと思います。家族に「表情が穏やかになった」と伝わるように「人は自分の鏡」心にゆとりを持ってこれからの人生や仕事に励みたい、そう思えるようにしてくれた今の職場環境に感謝しています。



<日帰り旅行> むさしの青年寮

7 月 9 日(日) すずらんファミリーは山梨へ旅行に行ってきた。最初に向かったのは山中湖。水陸両用バス「K A B Aバス」に乗ります。まずは、陸上を走行。その後スピードをあげて、その勢いで湖にドボン!と、同時にみんなで練習した「わっしょーーい!」の掛け声でバンザイをします。

その後は湖をゆっくり周遊。バスに乗る階段を怖がっていた利用者さんも湖に出た途端、身を乗り出して湖面を指差し楽しそう。晴天であれば目の前に大きな富士山が見えるはずでしたが、この日はあいにくの曇天。想像すると、みんなと見たかったなあと少し残念。

昼食はご当地グルメの「吉田のうどん」。みなさん麺類は大好き。

続いては季節の味覚、桃狩りへ。この頃には快晴に。たわわに実る桃を木からもぎ取って食べ放題。職員は皮剥きに夢中。「もぎたての桃はやっぱり違うよね。」と、心の声が聞こえて来そうなほど、みなさんたくさん食べました。でも桃はデザートでしょ、スイーツは別腹。ということで、信玄餅で有名な桔梗屋に寄り道。休日には行列ができるという「信玄餅ソフト」を堪能。信玄餅とソフトクリームのコラボレーションに大満足。その余韻を残し帰寮しました。

私にとって、男性ファミリーの担当は初めてで、興味がありそうなものに頭を悩ませましたが、場所ごとにさまざまな表情の変化が見られ一安心しました。日頃の外出や行事でもたくさんの経験ができるよう支援したいと思った旅行でした。(徳江)

